社会科学習指導案
指導者 伊藤 公一

１ 日 時 令和５年 11 月 18 日（土） 第２校時（10：05～10：50）
２ 学年・組 小学校第４学年２組 計 31 名（男子 15 名，女子 16 名）
３ 場 所 ４年２組教室
４ 単元名 世界に誇る広島県の魅力－「観光」から見えてくる広島県の特色－

５ 単元について
普段子どもたちが当たり前のように生活し，意識的に見たり考えたりすることの少ない
身近な広島県の様子について学習する際に，どのように県内の特色ある地域や特色あるま
ちづくり，観光などの産業の発展に努めているのかについて理解できるようにすることを
本単元のねらいとする。『小学校学習指導要領解説社会編』では，「県内の特色ある地域
では，人々が協力し，特色あるまちづくりや観光などの発展に努めていることを理解する
こと」が求められている。本単元の学習においては特に，ここで示されている「観光」と
いう視点を入口としながら，子どもたち自身が広島県について知り，他の都道府県の特色
や観光について，さらには世界とのつながりへと発展的に学習を進めることのできる学習
材である。広島県の観光の特色として，「厳島神社（宮島）」「原爆ドーム」の２つの世界
文化遺産をはじめ，多島美で風光明媚な瀬戸内海やなだらかで美しい中国山地など，多彩
な観光資源に恵まれ，毎年，国内外から多くの観光客が訪れている。広島県では，このよ
うな観光資源をもつ広島県の観光を活性化していくために，令和５年度から令和９年度に
かけて「ひろしま観光立県推進基本計画」において，「街も，海も，山も，魅力あふれるA
LL広島で世界をもてなそう！」というスローガンのもと，観光業活性化の対策が行われて
いる。現在，コロナ感染症流行が落ち着き，広島県の観光業が再び活性化してきており，
令和５年８月期は広島観光連盟による広島県観光客モニタリング調査によると，総観光客
数が765万人となりコロナ前（令和元年）を61万人も上回っている。これらのことから，「広
島県の魅力」を「観光」の視点から学習していくことが必要となってきているのではない
かと考える。
本学級の児童は，昨年度「広島市の様子や移り変わり」の学習において，広島市の現在
の様子や，現在に至るまでに市の様子がどのように移り変わってきたのかについて学習し
ている。たとえば，広島市の特色ある地域（山間部や中心部，沿岸部，太田川沿い等）の
様子について概観した。その後，広島市の土地形成過程（三角州の形成・干拓・埋め立て）
や，それぞれの時代の土地利用の目的等，社会的背景などについて，地図や現在の景観写
真等の資料をもとに学習している。しかし３年生段階では，「広島市」の学習のみにとど
まっている実態がある。そのためか「自分たちの考える広島県の魅力」についての事前調
査（令和５年１０月１７日４年２組３１名を対象）では，魅力ある観光地を全員の児童が，
「原爆ドーム」「宮島」の２か所を書いており，魅力ある観光地に偏りがあった。言い換
えれば，県内に２か所ある世界文化遺産を「広島県の魅力」ととらえているということが
分かる。これは，広島県のかかえる観光業の課題とも重なるような児童の実態がある。
指導にあたっては，第一次において多くの児童のとらえる「広島県の魅力」について，
これまでの学習経験および生活経験をもとに考える学習を行う。第二次では，多くの児童
が広島県の観光の特色としてもっている「廿日市市宮島町」の世界文化遺産「厳島神社」
をもとにした観光業を取り上げ，次に魅力ととらえていた軍港として発展した「呉市」の
観光の特色やその魅力について考え合えるようにする。また，「ひろしま観光立県推進基
本計画」にあるような広島県の全域にわたる市町の特色や観光資源に着目できるようにす
るために，瀬戸内海沿岸部や島嶼部の市町や，広島県北部地域の特色やその魅力にも目を
向けられるようにする。ここで，広島県全域の地域の特色をとらえられるようにするため
に，それらをつなぐ交通手段を確認し，子どもたちなりの「観光モデル」をつくっていく
活動を設定する。そのことによって，「広島県の魅力」について学習前にもっていた魅力

と比較しながら再度魅力をとらえ直すことができるようにする。最後に第三次では，現在
子どもたちがもっている課題意識でもあり，広島県観光産業の課題に着目できるようにす
るために，世界文化遺産である「原爆ドーム」「厳島神社（宮島）」の ２か所に国内外の観
光客がなぜ偏っているのかについて問いかけ，第二次までの学習をもとにしながら今後の
広島県の観光産業のあり方について考えていけるようにする。最後に，本単元の学習を通
して，「世界に誇る広島県の魅力」について，それぞれの地域の特色という「点としての
認識」から，地域間をつなげる観光という視点による「線としての認識」へとつなげ，最
後に子どもたち一人ひとりが広島県の特色を広くとらえられるようにすることで，「面と
しての認識」へとつなげていけるようにしていきたいと考える。

６ 単元目標
（１） 広島県南部の一部の地域だけでなく，県全域にも魅力や特色のある地域が広がっていることを
理解するとともに，一方で一部に偏りのある広島県観光産業における課題について理解すること
ができる。
（２） 広島県内外の観光客に人気のある世界文化遺産が２か所もある広島県の魅力度がなぜ低いのか，
また県全域に広がる魅力的な地域への観光産業における課題について考えることができる。
（３） 自分たちが暮らす「世界に誇る広島県の魅力」について，興味・関心をもちながら学習に取り
組むことができる。

７ 指導計画（全１０時間）
次 時 学習内容
１ １ わたしたちの考える広島県の魅力って何？

２
２ 世界文化遺産のあるまち廿日市市「宮島町」の特色と魅力
３ 東洋一の軍港となった「呉市」の特色と魅力
４ 広島県南部の瀬戸内海沿岸および島嶼部地域の特色と魅力
５ 広島県北部の山間部地域の特色と魅力
６ 広島県の魅力を活かした観光と交通の様子
７ 広島県の観光地をつなぐ交通をもとにした観光モデル
８ 世界に誇る広島県の魅力再発見

３
９ 広島県の観光産業の現状と課題（本時９／１０）
10 観光立県「広島県」を目ざして～「兵庫県」の観光戦略をもとに～

８ 本時の目標
 広島県内の特色ある地域の様子や広島県全体の魅力について理解するとともに，広島県観光の現状や
矛盾点等を資料から読み取ること通して，広島県の観光産業の課題を理解し，その解決へ向けた取り組
みの必要性に気付くことができる。【知識・技能】

９ 「教科等本来の魅力に迫るための教師の資質能力」との関連
基準 具体的な児童・生徒の姿
Ⅲ
広島県内の特色ある地域の様子や広島県全体の魅力と関連させながら，広島県の観光産業
の課題を理解し，その解決へ向けた取り組みの必要性について記述できる。
Ⅱ
広島県の観光産業の課題を理解し，その解決へ向け取り組みの必要性について記述でき
る。
Ⅰ 広島県全体の魅力や広島県の観光産業の課題についての記述ができていない。
手立て【関連する教師の資質能力】
○児童の広島県の特色のある地域の観光地や特産品等に対する関心と，それにもとづき自分たちの考
える観光の実態と実際の広島県における観光の実態とをつなげながら考えられるようにする。
【授業構想力】
○児童が，自分事として広島県の観光における課題について問題意識をもてるようにする。
【授業実践力】
○教師が学習内容における児童の思考の流れを視覚化できるように板書し，児童の思考を整理する。
【授業実践力】
○児童が，学んだ知識・概念（内容知）を総動員して，広島県の持続可能な観光産業となるように課
題解決に向けた児童の問題意識をファシリテートする。 【授業実践力】

10 学習の展開
学習活動と内容 指導上の留意点（◆評価）
１.「広島県の魅力」について確認する。
 ＜観光地＞
・世界文化遺産
「厳島神社（廿日市市宮島町）」「原爆ドーム」
 ・風光明媚な瀬戸内海
「しまなみ海道サイクリング」「尾道水道」
「呉市大和ミュージアム」「呉市蒲刈町県民の浜」
・県北部の観光資源
 「三段峡」「神楽」「帝釈峡」
 ＜伝統芸能＞ ・神楽
 ＜特産品（食・工芸品）＞
 ・牡蠣 ・もみじ饅頭 ・お好み焼き ・レモン
・熊野筆 ・宮島細工

２．それぞれの資料を読み取り，疑問から学習課題を
設定する。
 ・世界文化遺産を多くの外国人観光客が訪れ，人気
が高い。
 ・【観光に行きたい都道府県ランキング】も【道府
県魅力度ランキング】のどちらも，なぜ高くない
のか不思議に思う。
○「広島県の魅力」を出させながら，その多様
性に着目させることで，豊富な観光資源に
恵まれていることに気付くことができるよ
うにする。
○世界文化遺産に登録されている場所が２か
所もあることや，有名な特産品（食・工芸品）
が多くあることなど観光資源が多くあるこ
とを想起できるようにする。
○観光資源が多くあり G７広島サミットも行
われたことから，外国人観光客にも人気の
ある観光地であることをおさえる。

○３つの資料（【外国人に人気の日本の観光ス
ポット】【観光に行きたい都道府県ランキン
グ】【都道府県魅力度ランキング】）などの資
料を比較できるように順に提示すること
で，広島県の現在の観光資源および広島県
の全国での位置を確認できるようにする。
○資料や広島県商工労働局観光課の方の話か

・魅力がたくさんある広島県なのに，どうして観光
地として魅力がそれほど高くないのだろう。

３.本時の学習課題について予想し，話し合う。
・世界文化遺産の２か所だけ行って，すぐに他の県
に移動するから。
・広島県の北部へ行くのに，交通が不便だから。
・県内の魅力的な観光地が，あまり知られていない
から。
・宿泊施設があまりなく観光客の人が広島県内に泊
まることができないから。
・広島空港が広島市内から離れているから，外国人
観光客にとって不便だから。

４.広島県を訪れる外国人観光客の観光の動向を，資
料や広島県商工労働局観光課の方の話を聞くこと
で予想について確認する。

５.次時に向けて，広島県の観光産業の課題解決に向
けた取り組みについて考える。
・交通手段をもっと増やしたり，乗り換えなどを便
利したりする。
・もっと全国や海外の人に知ってもらう取り組みを
ら，人気の高い世界文化遺産をはじめとす
る広島県の豊富で人気の高い観光資源があ
ることをおさえる。
○それぞれのランキングにおいて広島県の位
置がそれほど高くないという意外性（「観光
に行きたい都道府県ランキング」１９位，
「都道府県魅力度ランキング」１８位）や矛
盾点から，本時の学習課題につなげる。

○これまでの学習を想起しながら予想できる
ように，ノートや，前時までの学習で使用し
た資料などをもとに考えるように助言す
る。
【これまでの主な資料】
・「自分のおすすめ広島県観光モデル」
（子どもたちが事前に作成）
 →観光プランで多くの観光地を周遊するプ
ランを考えた子どもが多い事と，平均訪
問率が 1.59 か所（令和４年度）であるこ
ととの「ずれ」によってゆさぶる。
・「交通手段マップ」
 →観光地間を移動する交通手段の不便さに
着目できるようにする。
○必要に応じて「観光地の条件」を提示する。
・観光資源（文化遺産・歴史・文化・自然など）
・観光地をつなぐ交通手段
・知名度
・受け入れ体制（サービス・宿泊施設）

○資料や広島県商工労働局観光課の方の話か
ら，広島県の観光産業のもつ課題について，
予想を確かめることができるようにする。

○広島県のインバウンド観光産業の課題と解
決方法について，対応させながら板書する。
・交通手段の不便さ→２次交通を整える。
・知名度の低さ→PR 活動の充実
・受け入れ体制の不十分さ→サービスの向上
広島県には世界文化遺産をはじめ多くの人気のある観光資源があるのに，
なぜ都道府県ランキングがあまり高くないのだろうか。

する。
・宿泊施設をもっと増やす。
・世界文化遺産以外にも魅力のある観光地があるこ
とを PR する。

◆広島県内の特色ある地域の様子や広島県全
体の魅力と関連させながら，広島県の観光
産業の課題を理解し，その解決へ向けた取
り組みの必要性について理解することがで
きる。【知識・技能】

＜参考文献・資料＞
○国土交通省観光庁（2023）HP（https://www.mlit.go.jp/kankocho/）．
○鈴木康之（2023）『古地図で楽しむ広島』風媒社．
○広島県商工労働局観光課（2023）「ひろしま観光立県推進基本計画」（令和５年度～令和９年度）
○広島県観光連盟（2023）「令和４年度広島県日本人観光地点パラメータ調査等業務（１月～12 月
 調査結果報告書」．
○広島県観光連盟（2023）「令和４年度広島県観光客数の動向」．
○広島県観光連盟（2023）「広島県観光客・宿泊客モニタリング月報」（８月～10 月号）．
○ブランド総合研究所（2023）HP「地域ブランド NEWS」（https://news.tiiki.jp/）．